

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 自然の博物館
 担当名: 総務担当
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
P43	自然の博物館管理運営費	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	自然と川の博物館費		
事業期間	昭和56年度～	根拠法令	博物館法 埼玉県立自然と川の博物館条例	針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 4		
				分野施策	0803 文化芸術の振興	SDGsターゲット 4-7		
1 事業概要	<p>埼玉県民の自然(生物、地質等)への興味や関心を高め、望ましい自然感、郷土愛を育む。また、郷土の多様な自然とその生いたちに関する資料を後世に残し、博物館の基礎的な価値を高める。 そのため、施設・設備等を適正に維持管理し、自然資料の調査、収集、保存、展示、教育普及を実施する。</p> <p>ア 展示 △1,681千円 イ 教育普及 △1,167千円</p>							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)	<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア 展示 展示の一部改修、展示に関連するパンフレット等印刷 3,529千円 イ 教育普及 観察会等の旅費・消耗品、事業案内・研究報告等の作成 3,570千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 展示 特別展(「秩父鉦山の面影～ニッチツが所蔵した希代の鉦物標本群～」)、企画展(「長瀬自然遊覧」ほか、年2回)の実施 パネル展の実施(年4回)、常設展示の拡充及び維持管理 イ 教育普及 観察会(7回)・自然講座(7回)の実施、学校・社会教育関係団体等への学習支援</p> <p>(3) 事業効果 利用者数 令和2年度 47,459人(うち入館者数 46,713人) 令和3年度 80,038人(うち入館者数 76,597人) 令和4年度 76,143人(うち入館者数 68,757人) 【活動指標(アウトプット)】 自然史資料を活用した企画展や特別展の実施、講座、観察会実施、アウトリーチ実施、自然に関する資料の登録 【成果指標(アウトカム)】 観覧者満足度 97.0%、講座・観察会満足度 99.5%、観覧者リピーター率 39.0%</p>							
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費	<p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 自然系博物館に興味のある県民を活用し、資料整理、展示解説ボランティア制度を設置 イ 長瀬町観光協会とタイアップした紅葉ライトアップ等、他団体と連携したイベントの実施</p>							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×19人=180,500千円	<p>(5) 補正予算の概要 需用費が当初の見込みを下回ったこと等による減額</p>							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
		財産収入	諸収入					
決定額	△2,848	△1,090	△85				△1,673	7,099
現計額	9,947	2,242	194				7,511	

事業内訳書

事業名	自然の博物館管理運営費		
単位事業名	展示	予算額	△ 1,681千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△1,090	—	自然の博物館 図録・グッズ
一般財源	△591	—	
合計	△1,681	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△16	—	節約による普通旅費の減
需用費	△1,658	—	節約等による消耗品、印刷代の減
備品購入費	△7	—	入札差金が生じたことによる備品購入費の減
合計	△1,681	—	

単位事業名	教育普及	予算額	△ 1,167千円
-------	------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	△85	—	自然と川の博物館教育普及活動参加費
一般財源	△1,082	—	
合計	△1,167	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△1,000	—	節約等による消耗品、印刷代の減
役務費	△167	—	節約による郵送料の減
合計	△1,167	—	